



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

移動図書館「あづま号」(広野町、大熊町)

広野町公民館図書室～大熊町立学び舎ゆめの森

◇あづま号との連携で図書室の充実を(広野町)◇

広野町の公民館図書室は、町役場の入口にあり来庁する住民の皆さんにとって、とても親しみやすくなっております。図書室には司書を始め、スタッフが常駐し、サービスも大変充実しています。

室内は多くの本が図書の分類通りにきちんと並んでいるだけではなく、本屋大賞コーナーや新刊コーナーなど、利用者の興味が高まる工夫が随所に施されています。利用者もここ数年でかなり増えてきているそうです。



町役場を入るとすぐに図書室があります



利用者の顔を思い浮かべながらの選書です

このように大変充実している広野町の図書室ですが、住民皆様の本の要望に100%応えることは難しいという話でした。そこで本の種類を増やす手助けとなっているのが、あづま号との連携です。図書室の入口付近にあづま号専用の本棚を設置し、図書室に無い本を置いています。その数500冊。様々なジャンルの本を補充することができました。

最近は児童書にも力を入れているので、子どもたちの利用も増えてきたとのことです。小さな図書室の挑戦は、町の読書文化の向上に大きな役割を担っていました。

◇もっともっと本に親しみたい(大熊町)◇

午後は、大熊町立学び舎ゆめの森での本の貸し出しを行いました。子どもたちはもちろん、先生方や生涯学習課の職員など、様々な方が本を選んでいました。

学び舎ゆめの森は校舎全体に本棚があり、本に囲まれて日々の学びを行っています。蔵書数もかなりありますが、子どもたちの興味は無限大です次々と発行される新しい本に対応するのは学校図書館だけでは限界があります。

普段から本に囲まれている子どもたちは、好きな本もはっきりしているようで、コンテナ内の本やあづま号内の本から次々とお気に入りの本を見つけしていました。中には、10冊近くの本を抱えている子どももいました。



お菓子作りの本をたくさん借りて、「お家に帰ったら、すぐにでもお母さんと作りたい」と瞳を輝かしながら話してくれた姿からは、読書が親子の触れ合いのきっかけになっていることが分かりました。また、鉄道や地理のジャンルの本を見つけて専門的な本を借りている子と話してみると、「簡単な〇〇」や「子どもの△△」という感じの本ではなく、あえて大人向けの本を見つけていると教えてくれました。日頃から本に親しんでいると、自然と対象年齢を超えた本でも読みこなせることが分かりました。

◇今回の訪問から◇

今回訪問した広野町も大熊町も、第五次福島県子ども読書活動推進計画の基本方針にある「読書に親しむ」「読書の環境整備」「読書活動への理解」が実践されておりました。無理やり子どもに本を読ませるのではなく、大人も一緒に本を読むということが読書活動の活性化につながります。広野町では公民館図書室からの発信や仕掛けを見せていただきました。大熊町では、震災前からの「読書の町」という伝統を引き継いでいる姿を見せていただきました。

今回の訪問では、1300冊近くの本があづま号から借りられました。これからもあづま号は、本と共に読書活動の文化も運んでくれます。

